

年度評価シート

課名 商業労政課

施設の名称	指定管理者名
静岡市北部勤労者福祉センター	公益財団法人静岡市まちづくり公社
1 履行状況	
業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。	
(1) 維持管理業務	
<p>建築物環境衛生管理業務等については第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。階段下へのクッションガードの設置、天井の清掃、機の補修を職員で実施するなど、限られた予算内で、感染症防止対策や修繕を適切に実施している。</p> <p>また、平成24、25年度において、4階男子浴槽からレジオネラ属菌が検出されたことを受け、衛生管理については、条例に定められる1日3回の浴槽水中の遊離残留塩素濃度の測定を行うほか、年2回の自主採水検査の実施や、集毛器清掃消毒（毎日）、循環配管の高濃度塩素消毒（週1回）、シャワーヘッド消毒洗浄（月1回）、循環配管内高圧洗浄消毒（年1回）等、日常点検を徹底している。</p>	
(2) 施設利用者数	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の施設利用者数は53,148人で、昨年度の50,226人と比較して2,922人増加しているが、令和元年度の93,193人と比較するとまだ新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものと考えられる。</p> <p>また、施設の稼働率においても44.8%と昨年度から1.6ポイント上昇しており、静岡市健康づくり推進課「元気静岡マイレージ」事業と連携するなど、施設利用の促進に向けた創意工夫がみられる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、換気設備の修繕や講座開催時のサーキュレーター及びオゾン除菌装置の設置など、施設利用者が安心して施設を利用できる環境整備に取り組んでいる。</p>	
(3) 事業実施状況	
<p>パソコン・フィットネス講座等の事業や各種イベントについては、緊急事態宣言及びまん延防止当重点措置等の発出に伴い、8月～9月、1月～3月の講座について中止したが、指定事業パソコン講座、フィットネス講座ともに指定回数を満たしており、概ね事業計画に則って適正に実施されている。</p> <p>また、自主事業も、プレミアムフライデー企画「理学療法士に学ぶ効果的なトレーニング講座」、市のほり・きゅう・マッサージ施術費助成を活用した「無料マッサージ体験」、大河ドラマ等の話題性に注目した「渋沢栄一と徳川慶喜の足跡を巡る」、外出自粛からの産後うつ防止のための「産前産後ケア教室」、エイベックスと協働した「幼児向けダンス講座」など、多くの講座を実施し、仕様以上の効果を上げている。</p>	

主な指定事業の実施状況は以下のとおり

ア パソコン講座

指定回数36講座

実施回数36講座（前年39教室）

延べ受講者数1,122人（前年1,009人）

イ フィットネス講座

指定回数36教室

実施回数36教室（前年27教室）

延べ受講者数2,384人（前年1,811人）

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの意見・要望に対しては概ね適切な対応がとられており、即時の対応が困難である要望に対しても当課と連携して適正な対応がなされているといえる。

[具体的な意見・要望と対応状況]

要望：フィットネス場のダンベル設置個所に鏡を設置してもらいたい。

対応：スペースや利用者の安全を考慮し、ガラスに鏡面シートの貼付をすることで対応した。

要望：更衣室ロッカーを使用の都度消毒をしてもらいたい。

対応：職員の配置上、利用の都度の消毒の対応はできないことから、利用者による消毒を実施してもらうよう、消毒の依頼を掲示するとともに更衣室に消毒液及びペーパータオルを配置した。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

施設利用者に対して満足度調査を行った結果、職員の対応について、約89%が「大変満足」「やや満足」、施設内の清掃状態について100%が「行き届いている」「普通」と回答しており、利用者の多くにとって適切な施設運営がなされているといえる。

また、「施設を再度利用したいか」の問いに対して、「利用する」が100%であり、利用者の意見・要望が講座運営等に概ね適正に反映されていると評価する。

(2) 市民アンケート

例年大規模イベントにおいて施設認知度等についてアンケート調査を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となったため、静岡駅北パーキングにおいて、駐車場利用者を対象にアンケート調査を実施している。しかし、アンケート調査対象者の約50%が市外在住者となっているため、市民アンケートとしては実際の集計値の半分程度しか市民のサンプル数を得られていない。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の市民アンケートは本来アンケートを取るべき対象に調査を実施できていなかったが、今後は感染症等の影響を踏まえたアンケート調査の手法を検討する必要がある。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況については、概ね予算のとおりに執行されており良好である。

ただし、収入合計75,768,645円に対して支出合計91,398,901円であり、15,630,256円の赤字が発生している。聴取によるとコロナ禍でフィットネス等の利用者が減少していることが原因であり、構造的に赤字が発生する状況でないことが確認された。今後、新しい生活様式に合わせた講座内容の検討や、地域のイベントに合わせた事業実施などにより新規利用者の増加を図ることで、収支状況が改善されることを期待したい。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

《新型コロナウイルス感染症への対応》

新型コロナウイルス感染症への対応については、市の要請に基づき、適切な時期から営業時間の短縮の対応が図られた。

この際の利用者への周知については、速やかに館内掲示板での周知やホームページでの周知を図る等、適切な時期・方法によって行われている。

また、利用者への利用料金の還付についても、市が示した方針に則り、利用者の混乱なく実施されている。

総括として、施設の管理運営については、事業計画等に基づき適切に実施されており、施設は良好な状態に管理され、運営も良好に行われている。